

バローHD売上高最高 9月中旬

バローホールディングス（HD）が14日発表した2025年9月中間連結決算は、売上高に当たる営業収益が前年同期比6・8%増の4505億4200万円となり、過去最高を更新した。主力のスーパーマーケット（SM）が好調で、全体を押し上げた。SMとホームセンター（HC）の利益が改善した効果で、純利益は22・9%増の82億7700万円と高水準となった。

SM事業の売上高は、8・9%増の2565億7400万円と伸長した。中核企業バローの鮮魚と野菜の生鮮部門や魚を使ったすし、焼きたてパンを提供するインスタアベーカーが好調。バローの既存店の客数と客単価は、いずれも増加した。攻勢を強める関西地方の新店は、計画以上の売り上げを計上した。

業利益が25・1%減だったものの、SMの増収効果に加え、HCのグループ3社で仕入れを共通化したコストの削減が寄与し、営業経常、純利益はいずれも増益となった。営業利益はSMが23・1%増、HCが79・7%増だった。

4～9月のグループ店舗は新設47店舗、閉鎖23店舗で、9月末の総店舗数は1474店舗となった。

26年3月期は増収増益を見込んでいる。

ドラッグストア（DS）事業は調剤部門が好調。21店舗を新規出店した効果もあって売上高は3・9%増